

かみ

議会だより

令和2年
3月定例会
第61号



あふれる笑顔!

(小代認定こども園 入園式)



今号よりQRコードを
導入しました。
香美町議会より検索できます。

—CONTENTS—

■ 令和2年度予算	2
■ 予算委員会審査	4
■ 補正予算・条例	6
■ 意見書	10
■ 町政を問う(14人が一般質問)	12~18
■ 委員会調査報告	20~21
■ この人 ここにあり	22

明日の香美町を紡ぐ

令和2年度予算

総額 249億8608万円 可決！

令和2年度 各会計予算額

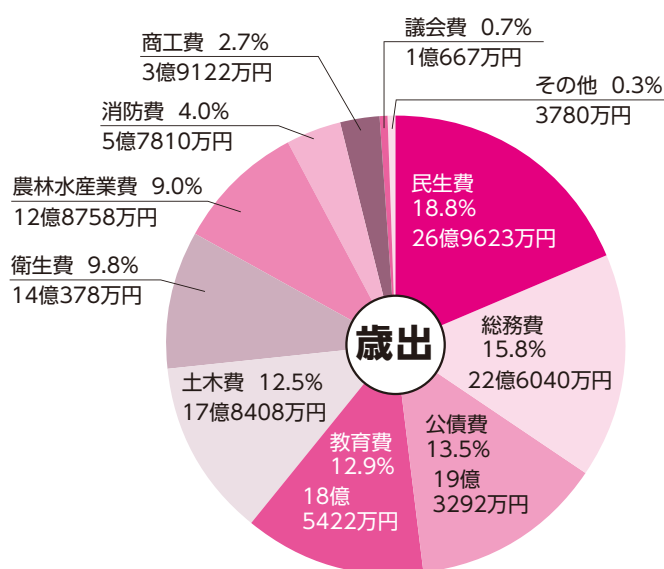
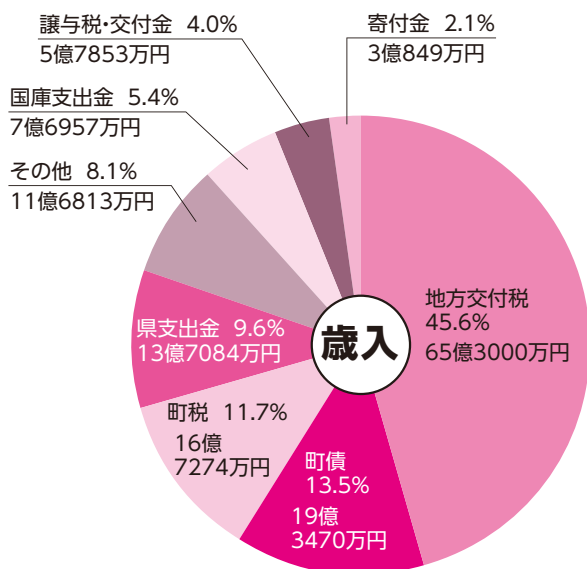
一般会計	143億3300万円
特別会計	
国民健康保険事業	24億1687万円
後期高齢者医療保険事業	3億2772万円
介護保険事業	24億8277万円
財産区	149万円
町立地方卸売市場事業	71万円
国民宿舎事業	1319万円
矢田川憩いの村事業	3041万円
企業会計	
公立香住病院事業	16億2160万円
水道事業	11億6687万円
下水道事業	25億9145万円

(千円以下、四捨五入)

3月定例会は、2月25日に招集され、3月19日までの24日間の会期で開催されました。町長から提案された令和2年度一般会計予算、7特別会計予算、3企業会計予算をはじめ、条例の一部改正・廃止、人事同意案件、工事請負変更契約、令和元年度各会計補正予算など51件、継続審査の条例修正案1件と議員が提出した意見書案2件、決議案1件を審議し、すべて原案どおり可決しました。

一般質問では、議員14人が町長に行政全般にかかる質問と政策提言をしました。

一般会計予算 143億3300万円



討論

一般会計予算

反対討論 谷口 眞治 議員

令和2年度予算は、①監視社会を強める個人ナンバード導入②公民館講座等の参加料徴収など町民負担継続③自然環境をこわす最終処分場処理水の矢田川放流④小代小学校給食センターの廃止⑤差別助長の人権推進事業⑥法の趣旨に反するパートタイム会計年度任用職員など問題がある。

また、町の最大の課題である少子化対策・子育て支援予算が限定的であり、抜本拡充を求める。

賛成討論 見塚 修 議員

令和2年度予算は、乳幼児・子ども世代から高齢者に至るまでの諸施策や障害者支援など町民目線に沿った新しい事業が見受けられる。また、新型コロナウイルス問題で町内経済が不透明で、かつ、町民の不安が毎日続いている今日、令和2年度予算を成立させて町内企業や町民向け施策を確実に担保させる必要がある。

賛成討論 西谷 尚 議員

令和2年度予算は、前年比増の積極的予算であり、今まで取り組んできた政策の目標達成をより確実に表すための予算編成となっている。

限られた予算で、守るところは守る、攻めるところは攻めるといふ総合計画・総合戦略に基づいた町民サービス向上のための予算であり、必要な事業の更なる推進と健全財政の維持を図る予算である。

国民健康保険事業 特別会計予算

反対討論 山本 賢司 議員

医療費分保険料が3.9%増額の予算であるが、2500万円の基金を使えば増税しなくて済む。基金繰入れを増額すべきである。また、多子世帯の支援は、第3子以降の子ども均等割の免除に踏み切るべきである。国保世帯の苦しみに応えない予算には賛成できない。

賛成討論 小谷 康仁 議員

一般会計繰入金金の総額が減額しているが、保険料軽減分と保険者支援分はともに前年より増額で、5割・2割軽減対象者が拡大している。国保税は増額が見込まれ、軽減減のため基金から繰入れ負担軽減している。

今後の国保税の上昇回避のための基金保有は必要不可欠だが、医療分の基金繰入れに期待する。特定健康審査等の取組みや成果による県の特別交付金は評価できる。

後期高齢者医療保険事業 特別会計予算

反対討論 山本 賢司 議員

消費税増税と年金の実質0.3%減改訂のダブルパンチのくらしを余儀なくされている後期高齢者に対して、4.05%増の保険料と低所得者被保険者均等割の軽減特例の改悪をすすめる予算は反対である。

そもそも75歳という年齢で医療を別にする制度そのものに問題があり、廃止が求められている。

賛成討論 小谷 康仁 議員

保険料率は2年ごとに改定され、令和2、3年度は所得割率の微増、均等割額の増額が見込まれているが、高齢者の医療費が増大する中、保険料の上昇を抑えるため、兵庫県後期高齢者医療広域連合の準備金約132億円を全額繰入れの予定となっており、保険料の上昇は最小限に抑えられているものと判断する。

国民宿舎事業 特別会計予算

反対討論 谷口 眞治 議員

国民宿舎の営業中止、香住観光公社の解散の直接の原因は、町長が資金援助をしなかったことにある。新年度予算には閉館の維持管理費しか計上していないが、新規事業者が見つかるまでは、町が直営で営業再開すべきであり、その費用が計上されていない。

賛成討論 吉川 康治 議員

2月に香住観光公社が営業を閉じ自主解散となったが、課題は国民宿舎の新たな活用と新たな担い手を迎えることである。

この新たな担い手の選定を最短で9月までに終わらせたいとの町長答弁があったが、国民宿舎の新たな活用に向けた計画が進んでいるものと考え、期待している。新たな担い手につなぐ期間の維持管理は当然必要である。

賛成討論 東垣 典雄 議員

香住観光公社の解散は大変残念であるが、ファミリーイン今子浦の活用は、香美町の重要な課題であり、早期に新たな担い手を決定することが先決である。現在、新型コロナウイルスで県内の第三セクターでの赤字が問題となっているが、この選定にも大変な難関があると思う。直営は避けるべきだ。



満開

予算審査

夢と希望を育む町づくりへ!

令和2年度予算は、予算特別委員会（西坂秀美委員長）に付託され、各所管課ごとに審査し、最終日には町長・教育長に対する「総括質疑」を行い、活発な議論が交わされ、原案通り可決しました。主な質疑は次のとおりです。

総務課

問 13年経過で庁舎外壁等の改修の根拠は

答 外装タイルに浮きや割れの事象が発生し調査の結果、全体の12%に浮きが認められ、更なる浮きやはく落が進むため、来庁者の安全を最優先し改修するものです。

財政課

問 八鹿・村岡病院の電子カルテ一本化を図らないと意味がないのでは

答 八鹿病院がサーバー方式によるデータ管理に対し、村岡は小規模病院を対象にしたシステムに

よるクラウド方式を採用していることから、一本化の計画はありません。

企画課

問 高校生バス通学助成金の詳細説明を

答 町内在住高校生のバス通学定期券購入費用に對して助成し、10月より開始。町内高校への通学は月額1万5千円を超過する額を助成、町外高校の場合は2万5千円を超過する額を助成します。

税務課

問 固定資産税の土地の減額の要因は

町民課

問 資源回収奨励の進め方は

答 活動団体に対し、回収資源物1kg当り2円の運動奨励金と古紙類布類を年間5トン以上回収の場合に1万円の加算、回収量が前年比5%増なら5千円を加算支援します。登録団体に対し、保管庫設置の補助を引き続き行い、今後、各区単位で取り組みを発展していただければと考えています。

健康課

問 子育て情報アプリの導入について

答 登録した保護者が無

答 地域経済全体が縮小傾向に向かい、地価の下落が続く、今後も下落基調で推移すると考えられます。

料で専用アプリをスマホやタブレットにダウンロードし、母子健康手帳の内容の入力や18歳までの成長記録を電子管理でき、予防接種漏れ防止や町からの緊急情報が可能となります。外国人保護者へのサービスとして11カ国12言語に対応できます。

福祉課

問 緊急通報システムの利用者との負担は

答 対象者は65歳以上のひとり暮らし、高齢者世帯、身体障害者等で緊急時に対応が困難な人です。現在、機器の使用に伴う電気代、電話の基本料金及び通話料の負担ですが、民間委託を行うことにより、新たな負担は考えていません。

農林水産課

問 「美方郡産但馬牛」の世界農業遺産認定は

答 世界農業遺産等専門会議の委員より指導を受け、申請書の修正、英訳版申請書を作成し、2月に国連食糧農業機関（FAO）へ提出しました。

今後、科学助言グループ（SAG）で審議され現地調査や認定時期など具体的なスケジュールはSAGで議論されることとなります。

観光商工課

問 香美町観光大使の概要と歌手の広瀬香美さんをお願いしたと聞か

答 平成17年から実施し登録人数は368人で最も多いのが近畿地方の68%で、観光パンフレット、イベント情報を送り観光特産品の宣伝や観光振興への提言、誘客活動を行っていただきます。

今後、観光大使交流会の開催も考えています。広瀬さんからの承諾はありませんが、有名人に観光大使として活躍していただく方法も一つです。費用などの条件について調査してみたいと思います。



目指せ！世界農業遺産「美方郡産但馬牛」



危険な空家

防災安全課

問 信号機廃止の対応は
答 公安委員会本部で県内信号機の老朽化に伴い今後5年間で必要最低限に留めるよう見直され、香住区4か所、村岡区1か所が廃止の対象です。地元からの要望で香住区の一本松南の信号機は存続を求めています。

建設課

問 空家等対策適正化事業費とは
答 空家等の適正管理を推進するため香美町空家対策協議会の開催経費を2回予定し、老朽危険空

家除却支援補助金として1戸当たり33万3千円の6件分を計上しています。

上下水道課

問 汚水処理施設整備事業費の内容説明を
答 平成28年度末で廃止した矢田川クリーンセンター解体撤去に係る事業の経費で、主に解体撤去工事費の9千万円です。

教育総務課

問 統合型校務支援システム導入の事由は
答 国の「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」で令和4年度ま

での導入が目標とされ、手書き・手作業で行っていた業務をシステム化して教職員の業務の効率化・負担軽減を図ると共に学校や学級経営に必要な情報や児童生徒の情報の一元管理・共有化が可能となり、児童生徒と向き合う時間が増え「教育の質的向上」につなげることを目的としています。

子ども教育課

問 中学校英語力スキルアップ事業の内容と事業参加料及び徴収の根拠は
答 長期休業中を活用した中学3年生の希望者を対象に2日間の全日程英語によるセミナーです。専門業者に委託し、日常生活や時事問題の理解と情報交換、表現ができる能力を養う機会を提供し、英語能力判定テストを実施します。参加料は一人当たり200円を40人定員と見込み、徴収については、私法上の契約関係に基づき実費経費の一部を徴収するものです。

生涯学習課

問 ワールドマスターズゲームズの受け入れは
答 来年5月14日に開会式が行われ、その前段階として来年5月4日から6日に神戸市、養父市、香美町でオリエンテーリングのプレ大会が行われます。参加選手が宿に帰ってから香美町を楽しんで頂けるように、英語版散歩マップや啓発用マップネットシートを作成し公用車80台に設置します。

香住病院

問 新型コロナウイルス対策は
答 日々刻々と国県等から発せられる情報に細心の注意を払いながら「新型コロナウイルスエンザ感染対策マニュアル」に準じて対応しています。新型コロナウイルスウイルス感染症にかかったかと思っただけは緊急の場合を除いて、連絡なしで直接病院で受診することは控えていただきたいと思ひます。

町長・教育長への総括質疑

問 年齢別職員構成のバランスのために社会人枠の職員を採用すべきでは
答 旧3町合併以降しばらく職員採用を行わなかったため、主に30代前半の職員が少ないという実態があり、特に不足している世代の採用を令和2年度実施に向け検討を指示したいと考えています。

従って、中途採用枠を設けることにより、新卒者等の若年層の採用枠を減らすことにもなります。

問 小代学校給食センターはまだ使える施設であり、村岡学校給食センターとの統合計画は見直すべきでは
答 17年が経過し設備の修繕や更新が必要な時期となり、維持管理費の増加や少子化で施設を多く維持するのは効率的でないことから、令和3年度頃を目途に統合する計画で小代に近い射添に整備を行ったので、予定どおり統合は進めます。



統合を見据えた村岡学校給食センター

3月定例会で令和元年度一般会計、2特別会計、3企業会計の6会計の補正及び一般会計専決補正1件が提案され、いずれも原案通り可決しました。

一般会計

- 少雪対策誘客支援 総額450万円 対象経費の1/3補助 村岡・小代観光協会
- 山手土地区画整理事業問題
- 調停費用は期限・金額設定なし債務負担行為で
- デジタル化に向け個人番号カード普及促進へ 75.8万円追加補正
- 香住病院資金不足へ 1億2000万円補填

令和元年度香美町一般会計補正予算(第8号)

令和2年2月5日専決

少雪対策誘客支援事業補助金 総額450万円 1スキー場あたり上限150万円とする

補助対象経費の1/3、香美町村岡観光協会、香美町小代観光協会が行う誘客イベント・PR事業

令和元年度香美町一般会計補正予算(第9号)

今回の補正は約1億3300万円の減額補正で、総額歳入歳出約140億1200万円とするもの

債務負担行為補正について

質疑

問 山手土地区画整理事業の特定調停事件に係る

弁護士委託料で期間が令和2年度から事件処理終了年度となっていること、限度額が具体的金額で設定されていないことは不適切ではないか

答 現在も調停中であり、調停事件の性質上いつ終わるか定かでないため、このような期間設定としては、価格設定については期間や調停回数が定まらない以上価格も定まらないので、法律事務の処理委任契約に伴う報酬金及び実費等の額としています。

問 具体的な金額設定なしの青天井で承認求めるのはどうか

答 金額について、成功報酬は税別100万から200万円の範囲内、実費弁償は1回8万8千円で月1回程度の調停でおおよそ年100万円程度の出費となります。

個人番号カード関係

問 個人番号カード発行委託料64万2千円の増額、個人番号カード交付推進事業費11万6千円、追加補正で何をするのか

答 個人番号カード関連事務委託料の額が確定したことにより予算との差額不足分を補うものです。交付推進事業に於いて、現在町ではマイナンバーカード交付円滑化計画を策定し、交付体制の整備や普及促進に取り組んでおり、申請時来庁方式や出張申請を早期に実現するための機器等の整備をするものです。

プレミアム付商品券事業費 減額補正について

問 本商品券の発行の実情は、残った分は返さなくてもよいか、この制度は使われにくいのでは

答 当初4000人に2万5000円を発行する予定で1億円計上していましたが、結果1358人で3395万円となり、

差額6605万円減額補正するもので、概算払いで受けているので清算払いが必要でです。

また使われにくいことについては国の施策であるため何とも言えません。

香住病院への負担金

問 香住病院への不採算部門への支援は赤字補正では

答 令和元年度の収支状況を勘案して、資金不足の発生が見込まれるので解消するために負担するものです。

反対討論

山本 賢司議員

国民を番号で一元管理する個人番号カードの申請手続きの拡充や消費税増税とその対策としてのプレミアム付商品券事業のやり方等含め反対である。

令和元年度香住病院事業企業会計補正

問 外来患者数を除き、予定に対して軒並み10%以上のマイナス乖離があるが

答 要因は人口が減ってきていること、医師不足で受入切れていない部分が生じていること、インフルエンザの院内感染などにより、一時期入院患者の受入を制限したことなど、今後も努力していきます。

変更契約

猿尾滝遊歩道落石対策工事請負変更契約

問 契約の変更内容と理由

答 ①落石防護柵延長の変更

落石の影響範囲を超えるため設置延長

②既存落石防護柵伸工の追加

上段からの落石を防護できない箇所を発見したため

③法面排水工の追加

周辺に悪影響を及ぼすことが判明したため

受益者分担金徴収条例

修正案可決

受益者負担軽減！

条例改正・廃止

3月定例会において、8条例の改正と2条例の廃止の提案はすべて原案どおり可決しました。また、12月定例会で提案され「継続審査」で委員会付託された、受益者分担金徴収条例改正の審査結果の委員長報告が行われ、「修正」で可決しました。

継続審査結果報告

12月定例会で提案され継続審査となり、産業建設文教常任委員会に付託された、香美町又は国若しくは県が行う事業の受益者分担金徴収条例の一部改正について

○委員長報告

審査結果は「修正」で、経緯として産業建設文教常任委員会の所管以外の部分も関係するため、総務民生常任委員会との連合審査会として審査したこと、同じ採択要件でも事業によって受益者負担に差異があることなどは是正や、優先するのは災害から人命を守ることと風水害の多い現下において農地の荒廃を守るため、受益者負担を軽減するこ

とを念頭に修正案を作成したことを報告。

修正案を可決

香美町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

農業委員会会長、委員、農地利用最適化推進委員の報酬等を規定する条例

質疑

問 報酬等を上げる理由はなにか

答 法改正で農地の最適化などが必須業務化され、今までにない業務が増えることによりです。

問 報酬の金額やアップ率などはどこで、どのように決めたのか

答 前回の法改正時の報酬決定の経緯や近隣市町の報酬を参考に最終的に政策調整会議で決定しました。
 会長 270000円
 委員 200000円
 農地等最適化推進委員 180000円

香美町固定資産評価審査委員会及び香美町手数料条例の一部改正について

行政手続きにおける情報通信の技術の利用に関する法律の改正に伴い、条文の変更と個人番号通知カードの再交付手数料規定を削除する改正

質疑

問 個人番号通知カードが廃止となると本人が管理する個人番号が無効となり、不都合はないのか

答 通知カードが無効になっても住民票がある方は、もれなく個人番号が付与されるので本人確認処理としての必要はなくなりません。

反対討論 山本 賢司議員

行政のデジタル化を進めるべく個人番号通知カードの廃止など、本人の理解または感知できないところで、物事が進んでいくことに納得できない。

香美町立子育て・子育て支援センター条例の一部改正について

香美町大谷、神坂、祖岡、山田の4子育て・子育て支援センターを廃止する改正

質疑

問 まだ使える施設は利用すべきで、イベント等で使っている施設もあり、地元調整や関係者との協議に少し時間に余裕をもって対応すべき

答 今回は行政財産から普通財産に切り替えて計画をスムーズに進める目的で、処理に当たって可能な限りの利用を基本的に検討し、利用の無いものは解体の方向となります。

香美町小代農産物等加工施設条例の廃止について

有償譲渡に向けて条例を廃止するもの

質疑

問 施設の残存価格、土地、現在使用している方との調整は出来ているか

答 耐用年数が令和元年

11月25日で終わっており、会計上の残存価格は1円です。現在借地契約ですが有償譲渡に当たって地主は買取を希望されています。利用者には譲渡する旨の説明をしています。



小代農産物等加工施設

連携協約締結

連携中枢都市圏の構成市町は、1市6町の鳥取県鳥取市、岩美郡岩美町、八頭郡若桜町、智頭町、八頭町、兵庫県美方郡香美町、新温泉町で、麒麟のまち圏域とした広域連携事業などに取り組んでおり、圏域に受け継がれる麒麟獅子舞や有形無形文化財から構成されるストーリーが日本遺産に認定されたことにより圏域の活性化が可能になる。

質疑

問 香美町にとってメリットがあるか

答 この連携協約は圏域全体の経済成長のけん引、高次都市機能の集積、強化及び圏域全体の生活関連機能サービス向上に関する取り組みをそれぞれ役割分担し連携して取り組むことにより、人口減少、少子高齢化社会にあっても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済

賛成多数で可決

反対討論

谷口 眞治議員

財政的にも事業的にも鳥取市の一人勝ちのシステムであり、香美町にとってメリットはない。60事業が上がっているが、あくまでもペーパーであり、連携協約は危険性がある。

が維持され、住民の暮らしを支えることが可能な魅力あふれる圏域を形成することを目的とする。

人事

教育委員会委員

任期満了に伴い、引き続き同人を教育委員会委員として任命する事に同意しました。任期は令和2年5月31日から4年間です。



香住区香住
やすだ ゆうじ
安田 優二 さん

人権擁護委員

任期満了に伴い、引き続き同人を人権擁護委員として法務大臣に推薦する事に同意しました。任期は令和2年7月1日から3年間です。



香住区一日市
はまもと まさえ
濱本 正栄 さん

固定資産評価審査委員会委員

次の方を固定資産評価審査委員会委員として任命する事に同意しました。任期は令和2年5月30日から3年間です。



香住区浦上
しばた しょうじ
柴田 章二 さん



村岡区大糠
たけお ひさし
竹尾 尚 さん



小代区鍛冶屋
みずま こうじ
水間 浩二 さん



農業委員会委員14名



次の方を農業委員会委員として任命する事に同意しました。
任期は令和2年4月21日から3年間です。



香住区余部
はしもと こうちょう
橋本 幸長 さん



香住区油良
いむら としゆき
井村 壽之 さん



村岡区高井
ぶんどう ふくいち
文堂 福一 さん



香住区大谷
なかもと しげかず
中村 成一 さん



村岡区口大谷
やまもと かおる
山本 薫 さん



小代区實山
かどがき ひでお
門垣 日出男 さん



村岡区板仕野
おかだ ひさし
岡田 久志 さん



村岡区和池
にしむら いさお
西村 功 さん



香住区下岡
かめむら しょうじ
亀村 庄二 さん



香住区下浜
よしかわ まさひと
吉川 正人 さん



村岡区長板
ふるかわ こうじ
古川 功兒 さん



香住区森
まえだ せいいち
前田 精一 さん



小代区水間
なかもと あきお
中村 彰男 さん



村岡区山田
やまもと たいち
山本 太一 さん

過疎対策の充実と強化を!!

『新たな過疎対策法の制定に関する意見書』

総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げたところである。

しかしながら、依然として多くの集落が消滅の危機に瀕し、極めて深刻な状況に直面している。

過疎地域は、我が国の国土の過半を占め、自然環境の保全、いやしの場の提供、災害の防止、森林による地球温暖化の防止などに多大な貢献をしている。

過疎地域が果たしている多面的・公益的機能を今後も維持していくためには、引き続き、過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要である。

同時に、都市をも含めた国民全体の安全・安心な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実・強化させることが必要である。

よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

快適な暮らしを支えるために!!

『下水道施設の改築に係る国庫補助の継続と予算枠の拡大を求める意見書』

香美町では、合併前の昭和61年度から下水道整備に着手し、兵庫県が提唱した『生活排水99%大作戦』に基づき、強力に整備を進めてきた。現在は、将来にわたって下水道施設の機能を維持していくための取組を進めている。

今後も、老朽化した汚水処理施設の改築への国庫補助が削減されれば、一般会計繰入金が増額や下水道使用料の増額改定により必要な財源を賄わざるを得ず、住民負担の増加に繋がる恐れがあり、町民生活に重大な影響が及ぶことが懸念される。

さらには、国難をもたらすような巨大地震はいつ起きてもおかしくない状況にある。

ついては、将来にわたって下水道サービスを確実に提供し、町民生活や社会経済活動を守り、快適な暮らしを支えるとともに、大規模被害が想定される自然災害へ備えるため、下記の事項に取り組みされるよう強く求める。

記

- 1 下水道施設の改築に係る国庫補助制度を堅持すること
- 2 その上で、災害時の機能保全、安全性確保の観点から、下水道施設の老朽化対策に必要な予算を確保すること
- 3 大規模被害が想定される日本海沿岸地震、及び巨大台風をはじめとする自然災害に備える事前防災の観点から、下水道施設の防災・減災対策等に必要な予算を確保すること

香美町国民宿舎事業

12月議会で否決した1月末まで 円滑に事業を進めるための 指定管理料を

全員賛成で修正可決

臨時議会

令和2年1月27日臨時議会が開会
一般会計、特別会計補正予算各1議案の提案と意見書
(案)1件が発議されました。「暖冬による支援融資」は全員
賛成、「国民宿舎の2、3月の維持管理費用」は修正、12月
定例会において総務民生常任委員会に付託、継続審議して
いた「地域医療の堅持を求める意見書(案)」は修正され、
いずれも可決しました。

質疑

今臨時議会では、12月
議会で提案された指定管
理料1320万円はなく、
修繕費の268万円も減
額されているが

答 12月議会で1月末ま
での国民宿舎事業を円滑
に進める予算を提案しま
したが、質疑の中で会社
法に基づけば株主の責任
はどうか、町民負担が大
きいという理由で議会が
否決した重みを尊重し、
2月から3月の国民宿舎
施設維持管理費用だけを
提案しました。

修正案

提案者 西谷 尚議員
賛成者 上田勝幸議員
賛成者 谷口眞治議員

議会としても国民宿舎
ファミリーイン今子浦を
支援すること自体に反対
ではなかったが、12月議
会の質疑答弁の中でいろ
いろな金額が飛び出し、
説明が不十分だったので
否決したものである。
したがって国民宿舎事業
を円滑に進める12月予算
に戻す修正案を提案する。

公立香住・村岡病院を守る意見書提出!!

12月議会で総務民生常任委員会に付託された 「地域医療構想」推進のための 公立・公的病院の「再編・統合」に抗議し、 地域医療の堅持を求める意見書案

- 1 地域により公立・公的病院の役割は異なっていることから、全国一律の基準により分析したデータだけで再編・統合の目安とするのではなく地域の実情を踏まえ、各地域の意向を尊重すること。
- 2 公立・公的病院の医療従事者の確保並びに偏在を是正し、制度的、財政的支援をはじめ、地域医療の確保のために必要な処置のさらなる充実を図ること。

委員会で修正、全員賛成で可決

一般質問

町政を問う

3月定例会での一般質問は、3月12日と13日に14人の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問の記事は、質問した議員の責任において作成したものです。



住所によって支払い額が違うの？



見塚 修 議員

子ども子育て施策として18歳、高校3年生世代までの医療費を無償化し、

町民の医療費較差の解消を!! 較差解消は難しいです

人口減少対策としている。しかし、18歳以上の世代では受診医療機関によって、医療費の町民個人負担に較差がある。

まちぐるみ総合健診では較差分を町が補てんし、較差はない。又八鹿病院、豊岡病院は中核病院として、県が支援し医療体制

を整えている。

その医療機関で受診する町民の医療費較差解消の均衡化をどうするか

町長 八鹿病院では香住区住民に、個室料が300円〜2000円の加算と初診時に400円の加算があり、豊岡病院で



は香美町民に、個室料が3割加算と自己都合の救急受診の場合は970円の加算があります。構成外の香住区、香美町民に利用者負担を求めていると考えています。

したがって、町として較差解消することは難しいと考えています。



獣害防止柵、共同作業で設置



東垣 典雄 議員

地域の組織は、担い手、リーダー、事務局の不足、活動資金の不足、などの課題がある。

この課題解決に農業・農村の有する多面的機能の維持、発揮を図るため

共同で行う作業や活動を支援する制度、多面的機能支払交付金を活用し農業振興と地域コミュニティをリンクさせ新しいコミュニティの組織づくりをすすめるべきだ

町長 農家の高齢化や担い手不足、地域をまとめるリーダーや世話役のなり手がなく、交付金申請等の事務処理が負担となっているなどの問題が

あります。

新しい地域コミュニティの組織において、農業・農村の課題も含めながら話し合いをすすめる、事務局機能の集約をはかるなど問題解決が必要です。また多面的機能支払交付金の活用に取り組み、さらに広域化を進める加算措置を活用できるように、各集落組織への周知とあわせて話し合いを進めていきます。

農業と地域コミュニティの連携を 各集落組織へ話し合いを進めます





暖冬・コロナのWショックの中、緊急支援策を望む



但馬牛と香住ガニ



吉川 康治 議員

さまざまな生産品が香美町にはあるが、現在、町長が香美町以外でも市

**ブランディング成功は先人の思いの結晶！
今後も全力サポートをします！**



民権を得てきていると感じている生産品は何があり、それはブランディングにどのくらいの期間を要したか伺う

町長 代表的なものとしては、世界農業遺産認定を目指す但馬牛や、県下で唯一香住漁港だけで

水揚げされる香住ガニがあると考えております。これらの産品が現在のようになるまで、相当な年月と地道な努力を重ねられ、今日の評価を頂けるようになったものです。

例えば香住ガニの場合、約20年近くだと思えます。観光協会や水産加工組合、

香美町神戸営業所など多くの関係者がいろいろな形で取り組みを進めてきた結果、松葉ガニに匹敵するほどの人気と知名度を得るようになりました。町では、これら特産物のさらなるブランド化、生産拡大に努めていかなければならないと考えております。

**町の経済は厳しい状況が予測される
組織を挙げて対応を協議します**



西谷 尚 議員

香美町の経済状況の悪化が予測される。

3月に入り融資が殺到している。まだそのような兆候が見えないと思うているかも知れないが、経済動向には必ずギャツ

プやタイムラグがある。香美町の経済において厳しい状況が来ることは明らかである。今からその対応をしっかりとる必要がある。ここ4ヶ月は、町経済を優先的に考え、香美町経済の動きを注視し、全力で取り組むべきである

町長 今が踏ん張り所のような思いもございませぬ。既存の対応のみならず、

議員の皆さんからのご提案、あるいは金融機関との連携を含め、町としていま出来るだけの事はさせていたいただきたいという感じでございます。しかし、まだまだ先の見えないうちにトンネルに入ったばかりと言うような感じですが、町の組織を挙げて対応策を協議してまいります。



農地を守ろう



母子に安全安心な食材を！

高齢化により、農地を手放したいと考えている農家が増加するとともに



森浦 繁 議員

農業の担い手対策は 人・農地プランを策定することです

耕作放棄地が増加しているが、この解消のための対策が必要ではないか。①農地の担い手対策はどうするのか。②農地中間管理機構の町の方針について

町長 ①耕作放棄地の解消対策といたしまして

は、農地パトロールの実施、所有者利用意向調査、草刈り等自己保全管理のお願い、非農地判断を進めてきました。対策農地の多くが山間奥地の条件不利農地であるため、借り手とのマッチングが容易でなく、自己保全管理についても高齢等により、



ままならないケースが多い実状にございます。②条件の良い農地については、農地中間管理事業を利用してもらうよう、農業委員会を中心に農地所有者に働きかけしております。集落の将来の設計図となる人・農地プランを策定することです。



藤井 昌彦 議員

次世代に、安全安心な食材を与えたいと思うが、①有機農業について町の基本的考え方は。②「コウノトリ育むお米」の栽培には、有機農業のノウハウが活かされ、通

町長 ①安全安心な有機農産物が重視される傾向が今後一層進んでいくと考えており、量は難しいですが、有機の里推

進対策補助金や県、JAの研修、小代有機農業教室等が開催され、町農業振興の重要な柱と捉えています。②このとりの復活ストーリー性の宣伝が素晴らしかったと思います。町としては、カニのほほえみ米等の有機農業に加え、特Aランクの良食味で評価される美方棚田米等をPR販売していきたいと考えています。

環境に良い有機農業推進は 町農業振興の重要な柱です

常価格より高価で取引され、今や海外にも輸出されると聞く。香美町でも付加価値を付けた農業特産物創造のためにもこのツールの取得は必須であり、積極的な研修、勉強会が必要と思うがどうか

進対策補助金や県、JAの研修、小代有機農業教室等が開催され、町農業振興の重要な柱と捉えています。②このとりの復活ストーリー性の宣伝が素晴らしかったと思います。町としては、カニのほほえみ米等の有機農業に加





休校中の「放課後児童クラブ」



鹿の一時冷凍保管施設

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、政府は小中高校と特別支援学校へ3月2日から春休みまで全国一律の臨時休校を要請したが、幼保・認定こども園は対象外で



徳田喜代子 議員

教育現場の新型コロナウイルス対策は適切な感染症対策と環境保持に努めます



放課後児童クラブは長期休業日の対応となった。
①教育現場での新型コロナウイルス対策②放課後児童クラブ職員確保③臨時休校による学習等の対応を伺う

教育長 ①手洗いやせきエチケットの徹底、風邪で発熱の症状のときは自宅休養、教室等のこまめな換気等適切な環境保持に努めることを各校園所長に通知、県の要請を

受け3月3日から15日まで臨時休校と卒業式も規模を縮小、延期しました。罹患した場合は出席停止や臨時休校の措置をします。②小中学校のスクールアシスタントや介助員の協力を得て職員体制を整えました。③各校の授業時数を調査し教育課程の履修は順調ですが、家庭学習や春季休業日を短縮し授業日を設けます。



西坂 秀美 議員

一時冷凍保管施設の整備で狩猟班の方々の労力軽減と捕獲意欲の向上で

新しい仕事への取り組みは埋設労力の軽減が目的です

捕獲頭数の増加につなげ農林被害、生活被害の軽減を目的としている。
香美町が施設をつくり鹿を冷凍して運搬し、処理料を支払うでは、納得できない。町民からも多くの不信の声を聞く。このままでは香美町の支出が増えるだけの施設とな

る。本町で雇用を生む、あるいは新しい仕事として取り組む考えはなかったのか

町長 ジビエの振興や雇用の場づくりの施設ではなく捕獲班員から強い要望のあった個体埋設労力の軽減を図ることで鹿

の捕獲頭数を増やし、農林被害の軽減を図ることが目的です。施設整備に至るまでに、加工処理施設増容化施設、焼却施設、町有埋設地整備等、さまざまなことを検討しました。また、個体処理の委託先のような取り組みが出来ないかも検討をしましたが今回の方策が効率的だと判断しました。





この子たちが大きくなった時に

昨年10月、消費税10%増税で幼児教育・保育の無償化が行われ、町の子



山本 賢司 議員

この町、子育て支援が一番大切 親の責任を町に転嫁しないでください

育て支援が更に進む検討がされる、と見ていた。保育料の中にあつた副食費4500円は保護者負担、小中学校の給食費もそのままで。子育て支援は、本町最大課題の一つであり、最低10年は継続すべきものだ。財源は充分にある

町長 子育て支援に係る経済的負担軽減は重要です。保育料は3歳以上無償となり、副食費の新たな負担者はいません。年収300万円まで拡充されています。第二期総合戦略で、第三子以降の支援に力を入れるとしました。ただ、具体的事業

決定に至っていません。まだまだと言われるが、親がこどものために費用が要るのは当然、町に親の責任を転嫁しないでください。国の施策で町に余剰は出ます。国がこどもの貧困対策の大綱を出したので、更に、協議・検討を進めます。



避難用バンダナ

意思表示にバンダナの利用を 町で作成し配付を検討します



西谷 高弘 議員

災害時は障害者の方にとって見えない、聞こえないという障害がより一層恐怖であり、不安となつている。その為にも共助である近所や地域の方の助けが必要であり、

日頃の連携が大事である。これは香住区の婦人の方が作られた避難用バンダナです。家族に障害者がおられ災害の時に背中におられることで意思表示できるような役に立てないか考えて作られた。参考に

また、ご指摘のあつた町内の方が作成されたバンダナを、例えば町内在住の障害者の方に町で作成してお配りすることもよいと思つたので、早速に内部で検討します。





ようやく実現！高齢者の安心

本年10月からバス交通の全面見直しをする予定だが、①香住地区バス路線②小代地区デマンド運行実証実験③補完施策について町長に問う



谷口 眞治 議員

町長 ①香住地区のバス路線は町が事業主体となり、公共交通空白地輸送を行い、運行業務は事業者に委託します。余部地区のデマンド(予約)運行は、大まかな出発時間を設定して運行経路は地区内自由で、余部道路経由の香住市街地へ直接運行します。香住地区はワゴン車両による矢田・下浜地区経由の巡回バスを運行します。村岡区境ま

でに短縮し、長井地区から香住市街地に向かう運行で、守柄・間室・油良・森住宅を経由します。②小代地区は、路線バスとの乗継ぎ予約をスマートフォンで行う実証実験を行います。③補完の運賃見直しは、1乗車上限200円と村岡・小代の区域外乗継ぎ1乗車上限500円、町内在住高校生のバス通学費の助成を行います。

バス交通をどう見直すか？ 10月から便利・安価にします



今やスマホ時代



田野 公大 議員

スマートフォン等の普及により、ICT化の環境として以下の自治体ア

スマホ対応自治体アプリ導入を 必要と認識して、施策を順次進めます



- プリ等の導入をすべきと考える
- ①行政サービスを提供するアプリ
 - ②観光案内をサポートするアプリ
 - ③保育園等の情報共有や保育の質を向上するアプリ
 - ④自治体コミュニケーション

町長 自治体アプリ等は、町の情報発信や町民との情報共有、職員間での情報共有等に活用することは必要と認識しています。

- ①町のホームページもスマートフォンに対応した
- ②ワールドマスターズゲームズ開催に合わせ作成を進めています。
- ③人数の多い保育園では、保育業務支援システムを導入しています。
- ④庁舎内、職員間の情報ツールを既に使用しています。



統廃合が決定した香住二中



快適な教室で学ぶ

香住第二中学校の統廃合が決定した。統廃合に向けてのいろいろな問題



岸本 正人 議員

香住二中の通学と生徒間の融和は不安の解消に最善を尽くします

が出てくると思う。旧村岡中学校への統廃合については、保護者、住民との会議では、統廃合は大賛成だが、通学方法はしっかりと対応してほしいとの要望が強くあった。統廃合では不登校の生徒が新たに発生した。今回の統廃合では特に通学

方法では保護者の希望を大事にすること。生徒間の融和を進めて、不登校の発生をなくすこと
教育長 2月21日の町総合教育会議において、第二中学校を閉校し第一中学校へ統し、統合時期は令和3年4月を目標と



することを全会一致で決定しました。
通学方法は、生徒の負担をできるだけ少なくすることを第一に考えます。生徒間の融和をどう進めるかにつきましては、二中の生徒が一中の生徒にスムーズに溶け込めるように検討し、不安の解消に向けて最善を尽くします。

文部科学省は、学校環境衛生基準で教室の望ましい温度基準を17度以上28度以下としている。本町の学校園におけるエアコンの使用規定について伺う。①夏季の使用



小谷 康仁 議員

期間が6〜9月だが、期間外の暑い日は使用しては駄目なのか②職員室の温度が28度を越えた時と示されているが、子供達の教室ではないのか③教室内の温度が28度を上回る場合は、温度を下げてよいではなく、下げなければならぬのでは
教育長 ①冷房は7〜9月と猛暑の状況を考慮し期間を決めています。

暖房使用が最も電力を消費するため、使用しないとします。②職員室の温度が28度を越えたときの理由は、湿度が80%になると不快指数が80に達し、ほとんどの人で汗が出てくるとされているためです。運転開始温度を判断する場所は、これまでの実態から職員室に統一させていただきました。③教室内の温度が28度を上回る場合は下げます。

エアコンの使用規定の見直しを 使用規定は、やはり原則で行います



一般質問 その他こんな質問もしました

質問議員	質問項目	質問議員	質問項目
見塚 修	このまちに住むことに誇りをもち、より豊かな住みよいまちづくりを求めて(Part12) ・活力・安心・安全編(その2) 町道山手若松線改良事業と香住谷川改修事業の進捗状況と今後の整備計画について伺う ・教育編 幼・小・中学校の夏季休業日の短縮について伺う	徳田喜代子	・香美町の新型コロナウイルス対策について ・障がい者のグループホーム整備について
		西谷 高弘	・安全、安心なまちづくりについて
		山本 賢司	・町長にとって住民の福祉の向上とは ・公民館とは何なのか
		谷口 眞治	・新型コロナウイルス対策について問う ・教員の「働き方改革」について問う
吉川 康治	・人口減少問題について問う (No.1) ・円滑で平等な医療を受けるために (No.2)	小谷 康仁	・地域医療構想について問う ・兵庫県美方地域の但馬牛システムについて問う ・香美町通信施設個別施設計画の通信について問う ・第2期香美町総合戦略などのICTについて問う ・「令和2年度の香美町教育の重点」の基本方針1にある「確かな学力」について問う
西谷 尚	・新型コロナウイルスの本町の対応について問う		
藤井 昌彦	・日本で最も美しい村香美町小代について		
森浦 繁	・結婚支援対策について問う		
西坂 秀美	・防災について	岸本 正人	・住宅用火災警報器の使用期限について ・鳥獣害対策について

議案の審議結果 (賛否が異なった議案のみ掲載しています。)

議案名	議員名	東垣	谷口	上田	小谷	西谷	見塚	田野	岸本	山本	吉川	西坂	西谷	藤井	徳田	森浦	西川
		典雄	眞治	勝幸	康仁	尚	修	公大	正人	賢司	康治	秀美	高弘	昌彦	喜代子	繁	誠一
議案 第10号 令和2年度香美町一般会計予算			×							×						×	-
議案 第11号 令和2年度香美町国民健康保険事業特別会計予算			×							×						×	-
議案 第12号 令和2年度香美町後期高齢者医療保険事業特別会計予算			×							×						×	-
議案 第16号 令和2年度香美町国民宿舎事業特別会計予算			×							×						×	-
議案 第5号 令和元年度香美町一般会計補正予算(第9号)			×							×						×	-
議案 第42号 鳥取市及び美方郡香美町における連係中枢都市圏の形成に係る連係協約の締結について			×							×						×	-
議案 第43号 猿尾滝遊歩道落石対策工事の請負変更契約を締結することについて							×										-
議案 第47号 香美町固定資産評価審査委員会条例及び香美町手数料条例の一部を改正する条例を定めることについて			×							×						×	-

空白…賛成、 ×…反対 ※議長は採決に加わりませんので、「-」で表示しています。

3月定例会では、次の議案も審議し、いずれも全員賛成で可決しました。

- | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ○令和2年度香美町介護保険事業特別会計予算 ○令和2年度香美町財産区特別会計予算 ○令和2年度香美町町立地方卸売市場事業特別会計予算 ○令和2年度香美町矢田川憩いの村事業特別会計予算 ○令和2年度香美町公立香住病院事業企業会計予算 ○令和2年度香美町水道事業企業会計予算 ○令和2年度香美町下水道事業企業会計予算 ○香美町職員採用に関する決議について ○専決処分をしたものにつき承認を求めることについて(令和元年度香美町一般会計補正予算(第8号)) ○令和元年度香美町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号) ○令和元年度香美町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算(第1号) ○令和元年度香美町公立香住病院事業企業会計補正予算(第3号) ○令和元年度香美町下水道事業企業会計補正予算(第3号) ○香美町農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることにつき同意を求めることについて ○香美町過疎地域自立促進計画を変更することについて ○香美町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて | <ul style="list-style-type: none"> ○香美町区集会所条例の一部を改正する条例を定めることについて ○香美町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて ○香美町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例を定めることについて ○香美町介護保険条例の一部を改正する条例を定めることについて ○香美町営住宅条例の一部を改正する条例を定めることについて ○香美町立子育て・子育て支援センター条例の一部を改正する条例を定めることについて ○香美町小代農産物等加工施設条例を廃止する条例を定めることについて ○香美町小代和牛センター条例を廃止する条例を定めることについて ○財産の無償譲渡について ○香美町又は国若しくは県が行う事業の受益者分担金徴収条例の一部を改正する条例を定めることについて ○新たな過疎対策法の制定に関する意見書(案) ○下水道施設の改築に係る国庫補助の継続と予算枠の拡大を求める意見書(案) |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

委員会調査報告

新しいコミュニティづくりと子育て支援の充実を

総務民生常任委員会

1.はじめに

令和元年度の所管事務調査を次の項目で行いました。

- ①まちづくりと総合計画について
- ②財政運営と行財政改革について
- ③自治振興対策について
- ④消防、防災、環境保全

対策について

- ⑤保険及び衛生の運営、福祉対策について
- ⑥公立病院の整備と運営

2.新しいコミュニティづくりについて

人口減少でこれまで集落単位で行って来た地域活動が担い手不足で支障をきたすようになってきており、地域内のさまざまな団体が一体となって

町で子育て支援の数々の施策を研修してきました。新しいコミュニティでは、村岡区の射添地区がモデル地区として取り組みをすすめています。

地域課題を解決していくとする「新しいコミュニティ」の設立に香美町では、村岡区の射添地区がモデル地区として取り組みをすすめています。島根県雲南市は、行政主導によるもので、どちらの設立課程であっても地域の課題は自分たちで解決しようとする意識の醸成が必要であると提言しました。

3.子育て支援の充実を

香美町の最大の課題は人口減少です。さまざま子育て支援策を実行しても人口減少に歯止めがかかっていません。

視察先の岡山県美咲町においては子育て支援の施策で少しは人口減少が鈍化していることに注目し子育て支援の充実を提言、町政に反映していきます。

主な所管事務調査・付託案件審査

第1回	5月20日	(1) 正副委員長の決定について
第2回	6月14日	(1) 公立香住病院事業企業会計決算審査について(運営方法) (2) 所管事務調査について
第3回	7月22日	(1) 平成30年度公立香住病院事業企業会計歳入歳出決算審査について=原案認定 (2) 令和元年度各課の主要な事業概要について (3) 所管事務調査について
第4回	8月16日	(1) 最終処分場、漂流・漂着ごみ処理施設及び旧クリーンセンターの視察 (2) 視察研修について
第5回	9月3日	(1) 意見書案1号「災害ボランティア活動に対する支援制度の構築を求める意見書」の提出について (2) 意見書案2号「警察署再編整備計画に関する意見書」の提出について (3) 視察研修について
視察研修	10月17日～18日	(1) 島根県雲南市「地域自治組織について」 (2) 岡山県美咲町「子育て支援の取り組みについて」
第6回	11月7日	(1) 視察研修のとりまとめについて
第7回	12月4日	(産業建設文教常任委員会との合同委員会) (1) 第2期香美町総合戦略について
第8回	12月10日	(1) 緊急通報システムの民間委託について (2) 視察研修のとりまとめについて (3) 請願第4号「国の病床削減、「再編統合」の再検討を促す動きを取りやめ、病院を安定的に運営できる医療政策を求める請願について」の審査について=採択
第9回	1月10日	(1) 山手土地区画整理事業の現状について(懇談会) (2) 意見書案第4号「「地域医療構想」推進のための公立・公的病院の「再編・統合」に抗議し、地域医療の堅持を求める意見書(案)」の審査について=修正
連合審査会(第1回)	1月21日	(1) 議案第111号「香美町又は国若しくは県が行う事業の受益者分担金徴収条例の一部を改正する条例」の審査について
連合審査会(第2回)	2月5日	(1) 議案第111号「香美町又は国若しくは県が行う事業の受益者分担金徴収条例の一部を改正する条例」の審査について
第10回	2月10日	(1) 地域防災計画の見直しについて (2) 新型コロナウイルス対策について (3) 意見書案第5号「新たな過疎法の制定に関する意見書(案)」の審査について
第11回	3月3日	(1) 公共施設等総合管理計画(個別施設計画)の進捗状況について (2) 委員会活動報告について
第12回	3月4日	(1) 職員採用の決議提出について



島根県雲南市にて研修

委員長	東垣 典雄
副委員長	岸本 正人
委員	谷口 眞治
	小谷 康仁
	見塚 修
	吉川 康治
	西坂 秀美
	藤井 昌彦

農林水産業の見直しと 工業の新たな人材確保への取組

産業建設文教常任委員会

1.はじめに

令和元年度の重点調査として、

- ・農林水産業の振興
- ・商工観光業の振興
- ・学校教育、社会教育における諸問題
- ・道路、河川の整備と治水対策について
- ・上下水道の整備について

児童福祉施設（保育所（園）等）に関連する諸問題について調査を行いました。

- ・児童福祉施設（保育所（園）等）に関連する諸問題について調査を行いました。
- ・また、管外についての視察研修については、6次産業ネットワークの取組
- ・香美町経営者協議会・商工会との懇談会

2.「世界に発信」

日本農業遺産シンポジウムに参加。
「兵庫美方地域の但馬牛システム」の世界農業遺産認定と価値について、ユーイヴォーン氏による

3.「6次産業ネットワーク化」

広島県世羅町にて現在取り組んでいる6次産業ネットワーク組織の立ち上げ・取組・実績・課題について研修を行った。

5.「海上タクシーの取組」

香住海上タクシー事業組合との意見交換。
香住海岸を活用したツールが消滅する危機感の中で、「小型漁船」による海上タクシー事業を展開。苦労話や今後の課題と新たな取組を伺った。

6.「新たな人材確保」

香美町経営者協議会・商工会工業部会との懇談会を持った。
内容は、新たな人材確保・外国人労働者の雇用と活用について事例報告を受け、人材確保の難しさとその課題について意見交換を行った。

主な所管事務調査・付託案件審査

第1回	5月20日	(1) 正副委員長の決定について (2) 広報広聴常任委員会委員の決定について (3) 議会運営委員会委員の決定について
第2回	6月13日	(1) 水道事業企業会計・下水道事業企業会計決算審査について（運営方法） (2) 所管事務調査について
第3回	6月21日	(1) 所管事務調査について (2) 視察研修日程について (3) 請願第2号現香住文化会館横に現存する大桜の存続を求める請願について＝不採択
研修	7月4日	(1) 世界・日本農業遺産シンポジウム「兵庫美方地域の但馬牛システム」について
第4回	7月29日	(1) 令和元年度所管の主要な事業概要及び進捗状況報告について (2) 水道事業企業会計決算審査について＝原案認定 (3) 下水道事業企業会計決算審査について＝原案認定
第5回	9月4日	(1) 視察研修について (2) 請願第3号教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択の要請について＝採択
第6回	10月10日	(1) 香住小学校 英語教育及びプログラミング授業について (2) かすみ海上タクシー事業協同組合との意見交換について
視察研修 10月29日～30日		(1) 広島県世羅町「6次産業化の取り組みについて」 (2) 広島県世羅高原6次産業ネットワーク「6次産業化の取り組みについて」
研修 11月19日～20日		(1) 山陰近畿自動車道整備推進決起大会について
第7回	11月21日	(1) 香美町経営者協議会及び商工会工業部会との懇談について (2) 視察研修報告について (総務民生常任委員会との合同委員会)
第8回	12月4日	(1) 第2期香美町総合戦略について
第9回	12月9日	(1) 視察研修報告の取りまとめについて
第10回	1月14日	(1) 議案第111号 香美町又は国若しくは県が行う事業の受益者分担金徴収条例の一部を改正する条例を定めることについて
連合審査会 (第1回)	1月21日	(1) 議案第111号 香美町又は国若しくは県が行う事業の受益者分担金徴収条例の一部を改正する条例を定めることについて
連合審査会 (第2回)	2月5日	(1) 議案第111号 香美町又は国若しくは県が行う事業の受益者分担金徴収条例の一部を改正する条例を定めることについて
第11回	2月17日	(1) 議案第111号 香美町又は国若しくは県が行う事業の受益者分担金徴収条例の一部を改正する条例を定めることについて (2) 下水道施設の改築に係る国庫補助の継続と予算枠の拡大を求める意見書について
第12回	2月19日	(1) 議案第111号 香美町又は国若しくは県が行う事業の受益者分担金徴収条例の一部を改正する条例を定めることについて＝修正
第13回	3月2日	(1) 常任委員会活動報告について

4.「新たな教育の取組」

香住小学校において、英語教育及びプログラミング授業の取組を見学。
英語教育授業について3年2組の授業を見学する。
指導者は、英語担当教諭としてALT（外国人指導者）。

委員長	西谷 尚
副委員長	田野 公大
委員	上田 勝幸
	山本 賢司
	西谷 高弘
	徳田喜代子
	森浦 繁

この人にあり

(小代区)

今回は、美しい香美町小代の景観や但馬牛、歴史文化を交流人に紹介する活動をしている小代ガイドクラブ会長稲尾孝さん（小代区大谷）にお話を伺いました。



稲尾 孝さん

「クラブの主な活動は

香美町小代を訪れる方に魅力を知って頂くガイド活動と月に一度、見識を深めるガイド研修会を行っています。

「会長就任はいつ

平成29年5月に就任しました。

「会長としての悩みや苦労は

クラブ会員全員が協力的でこれと言って会長としての苦労はないですが、自分自身の本業があり、休日しか活動できず、平日の昼間活動ができる特定のクラブ員に負担をかけていることが、申し訳なく、それが唯一の悩みです。

「活動で感じることは

クラブ員は、自分の本業の合間の時間を縫って活動していることと、月一の研修会にも楽しんで参加してもらっているこ



美しい村 香美町小代の風景

小代ガイドクラブの歩み

当時、山陰海岸ジオパークがユネスコ世界認定され推進委員会が各地でガイド養成を進めていた背景もあり、平成24年2月28日香美町小代観光協会会員と公募メンバーで「山陰海岸ジオパーク小代ファンクラブ」を設立しました。

同クラブ員で観光協会事務員の故藤村美香さんの「香美町、小代を案内する人材がない、何とかしなければ」という観光ガイドに対する熱い遺志に打たれ、クラブはガイド養成と活躍する仲間づくりを目指し、各方面から助言、指導を頂き、平成27年4月「山陰海岸ジオパーク小代ファンクラブ」から「小代ガイドクラブ」に名称変更設立しました。

因みに美香さんは、「黒毛和牛の99.9%が田尻号」ということを最初に目を付けて調査依頼された方です。

その後、NPO法人「たじま海の学校」今井裕子氏によるジオパークガイド養成講座、危機管理マニュアル作成等を教示頂き、並びに当時、神戸夙川学院大学、現、奈良教育大学准教授の河本大地氏にはガイドブック、パンフ作成、アドバイス等のお力添えを頂きました。

主に「和牛のふるさと」と「うへ山の棚田、吉滝、久須部深谷等の美しい自然」を絡めたガイド活動を行っています。

最近は京阪神、外国の方からのガイド養成も増え、現在に至っています。

とから香美町小代が好きて盛り上げようとしていくことに感動しています。最近ではガイド要請が増え、外国の方も来られ、

クラブの知名度も上がってきています。今後も精力的に活動していきたいです。



ガイドの様子



「議会にひと言お願いします」
新型コロナウイルスの影響で大変な状況ですが、香美町に多くの人が訪れてもらえるように観光振興に力を貸して頂きたいです。

編集後記

木々草花が芽吹く3月、4月、5月ですが、今年には井戸県知事が、言われた「災害級の暖冬」となり、観光業他、様々な業界に被害が及びました。

更に、新型コロナウイルス感染が全国・全世界に拡大し、全町的に影響が及び増加しています。町は対策本部を立ち上げて危機対応を図っています。町民の皆様も何かあれば町・議会にご相談ください。

まずは自ら手洗い・うがい・マスク等、無理をせず健康管理に努めましょう。

(K)

広報公聴常任委員会

委員長 徳田喜代子

副委員長 谷口 眞治

委員 田野 公大

委員 岸本 正人

委員 西坂 秀美

委員 西谷 高弘

委員 藤井 昌彦